「東京観通」青森、岩手、山形、秋田、宮城、樹野、南京観通」青森、岩手、山倉制員自餘名込二十日上京、本日午前十時半府會騎事堂で本日中前十時半府會騎事堂で本日中前十時半府會騎事堂で本日中前十時半府官職事堂で、もし政府の出議如何でもし政府の出議如何でもし政府の出議如何では飛民運動にまで發展の成れ 曙タシシー 東北各縣 A 會議員 のを余は遺憾こする のため上京 2636 「簡本は、響越してしまった!」「簡本は、響越してしまった!」といったが、事實は果してその編といったが、事實は果してその編とに、一たん総館から支那気のしょに、一たん総館から支那気のしょに、一たん総館から支那気のしょに、一たん総館から支那気のしょう。 数で所され、のでもつない。

をれといふのは、他一のがだ。 それといふのは、他一のがだ。 それといふのは、他一のがだ。 でかかりがあつた、めで、元來。 でも、知つてゐる野の他一として は、まつたく近顧と云はねばなら ない手落があつたのだ。 の歌戦のあった後、そのまして戦だけて他一のがは、キンの戦し際だけで、他一のがは、キンの戦し際だけでした。そのまして機会をいった後、そのまして機会を行けば、他一とは大墜ひに優遇せられ、縁起の士官の難に叩き出き れた時にも、たつたな、他一に 駐中所へ來ると聞いて二人は

は、まつたく、どうしていた時には、まつたく、どうしていたと観測したが、いより、数が 所へ弱立てられて来る途中、彼い 原へ弱立てられて来る途中、彼い とこれには一位でれ まるで佛を見るやうな影和さであった土官 金姓継及北し収納条が、村よ側迅の対けでは選出する。

新京公司

話四九三〇月

大草丸 雄學高津出的

海京大 衛星·清津出版

七二/三町笠三 (新通条三東)

北鲜経由魚泉~!! 大阪~!!

新京

北日本汽船

一款買引用京个国際列車

多少に不拘御招談に正確。取扱極秘。但

文版起法案(得科、用的計畫案(李烈鈞茶)

の組織擴大案



金華堂へ 政府公布 理相の良人 公竹節出特作 吉屋信子女

下さい!!

取扱懇切の 命

御申込は 仁和洋行

北岸製版所



洋長

電話番號變更御通知

滿洲醬 新京富士町三丁品 合

同期間期間 印醬油釀造元

十三日 封切 每日 晝夜 松竹下加茂特作 松竹下加茂特作 中村羅文郎の愛孫 中村羅文郎の愛孫 大人社条一回主演映畵

大社等・回主演映画

四十八組共通番號

V

醬油當選廣告 ・新聞記者御立等の 上版下に奉行結果だ記者號當護を決定致し候に顧の程厚く御禮申上禁拍識券材本費出之が抽識は豫定の如く一月で過五千級謝恩後出中のは格別の舞引立に預り豫想以上の好覧行を

線を行 友

等の主那が東は、ロシアの歌地 日本東の人域とともに、歌が はでは、ロシアの歌地 支那兵一兵の財だにも、留め (七十三)

福· 路文

開催决定 ロンドンに 運賃値下げ運動に

で焼し戻らね――」といふ其造のいよまでも無く。それは晩婚のいよまでもおった。「支那糸様すに を跳して、にこついて来たのであった。 ない難をしてるた似が、にかかに、気が難をしてるた似が、に

を括三七三二巻 希望のかは資序行

な、惨ち合せのが――大学が、選 ガ

A 会 等 等 等 等

までもそれは、彼の手助 ル丁目電話三三四一番(千出 ・ の) は側看室に依り拙 ・ は側看室に依り拙 ・ の) は側看室に依り拙 電町四ノ七、三井洋で向側 大陸別整

せるかな、解釈の効節は、 神央薬店 書野町二丁目

金四次数 日賦,月賦

な男も、どうなつてしまつた。彼の、情報と自腐する不

日州町電ご三八七巻新浦社

(荒川 芳三郎衛)

銀器

百四十五萬二千平方礪凌

**一回会一周五十級** 一回会十4場

有 新世話は編日 GLI番へ、人

F 十三日より

京、キ 木 番マ



襖專門 梅ヶ枝町四丁目十四番地

地番八目丁一町樂永京新

道樂 一門 電話三〇六〇番

座

食道樂

御下命の折りは電話二〇六〇番を御呼出し

### 執政登極定決の報に 君臣融和の美を威嘆

支那民衆に映じた満洲國帝制 を受けたのもものを知られて、今日の新別紙も其の命をを受けたのもものを如く事實をを整じた解酬國政府の整明書をを指載して民心をして、以の論評を掲載して民心をして、以の論評を掲載して民心をして、以の論評を掲載する事を避けて異に過ぎる事を通じて異に過ぎる事を通じて異に過ぎる事を通じて異に過ぎる事を通じて異に過ぎる事を通じて異に過ぎる。 同國の人心安定及び秩序維 持に査し得るこさ

競尻りを挿へてみけ足をさつ 話を小く取扱つて一々その言 話を小く取扱つて一々その言 等の利益のるここを集け、及 間域を是城以南又は察哈爾方 面に擴張せんこするものであ るこ云ふ支那側の疑惑に就て は日本官窓は之を一笑に附し 環閉域側も等乃帝 制資施 5共 に、その領域を明確にし、長 成以南の混沌たる状態に続ひ されねここを目的さしてゐる

京

帝制實施をごう見るか

各紙の論調

病氣を理由 出し

荒木陸

相辭表提出

**松かに響戒の眼を光らせて** 

ないのでは、 のでは、 のででは、 のででは、

本に有利に要するさは思は本に有利に要するさは思はという。本に有利に要するさすべきもとに依つて外國の質が供に日に依つて外國の質が供いの数ができると

外交部總長謹話

の要な含次単で演。日、華のの要な含次単で演。日、華のに非さるここを述べて居りますかとに伝るに中華民國は右すかとに伝るに中華民國は右

かさ感して居た所でありまな事實は自分が従来物かにを異異の敬義の一場ではな

多門中將以下

第古民族を代表して喜びを 氏は海峡町の皇帝即位に 動

事變行賞近く發表

の熊麒、珠にユアドセラ・福州副建國以来總建高き、東安東・南、二二分省をあけての皇帝即と二分省をあけての皇帝即と

帝制實施

を寄ぐ

高調強化を見るへきこご書校

へきこさご拜祭します

併合の意思無き事を明かに禰州國の帝制實施は日本が

機上より

数萬枚の慶祝

ピラを撒布

1、一次い間待つた政等の帝國 ・ で で が で 知らない 有様だ、前 ・ で で が で 知らない 有様だ、前 ・ で で が で 知らない 有様だ、前 ・ で が で 知らない 有様だ、前 ・ で が で 知らない 有様だ、前 ・ で が で 知らない 有様だ、前 奠定國基以顧天命」「完成

A P

M

に祝賀すべく、陸軍では追め、例年に比し一層盛者と現所の成成ので、この制度施直後になるので、この制度施直後になるので、この制度施直後になるので、この制度施直後になるので、この制度施直後になるので、この制度施直後になるので、この制度施直後になるので、この制度を対象がある。 らの熱狂振りを示してる

#### 政民兩黨と あす休會開け議

蓋は切られるこさ」なったの は世二日開き、弦に政戦の火 對議會準備

で、政民機震は廿一日夫々驚 女官を開き、膳曾に臨む態度 を天下に表明し、憲政を擁護

以下五百名参集、望月氏を一条で大きを開催、鈴木、床を飲度開出の為午後一時よりま

で 成友會では 語

後任は林銑十郎大將に决定

後任には教育總監林銃十郎大將を決定

て鮮表を齋藤首相の手許に提出した、

務をみるを得ぬを理由に柳川次官をし (東京特電)荒木陸相は病氣のため國

行に関する法律案は既に閣側の決定を終たから内閣より とでので本月中に置動局に提出する管である。 向行賞に を設する豫定で、右は大体陸 素省に於ける関査を完了 に發表する豫定で、右は大体陸 素省に於ける関査を完了 に發表する豫定で、右は大体陸 素省に於ける関査を完了 に要求二師風の前師園長多門中縣以下路長の分を最初 に対している。 一般である。 向行賞に 要する満洲事件に属する一時賞金さして交替する多債整 要する満洲事件に属する一時賞金さして交替する多債整 要する満洲事件に属すると存者の論功行賞に就て

であらせられたので、念でもれると(御野事以来御假床にあらるをもれてるたが、 御肥立られると(御中常に 御吹

**帰の入場券に** 

除外例を設く

日満軍警その他に

「東」國『」 皇后陛下

御床拂ひ遊さる

### 贖職事件暴露か 米自動車商會店員の横領から 國道局

意外の方面に飛火

京都驛慘事に鑑み 満鐵でも嚴戒

**術総織道部では二十日附けで** した過般の京都譚事件に握み 明古未會省の唯領機事を惹起 鐵道、埠頭事務所に注意示達

能力以上の人員は決して入略力以上の人員を調査しておき收容 通整理に常らしめ両一事故 と配置し軍警を協力して交 を配置し軍警を協力して交 を配置し軍警を協力して交

星后陛下

し得らやう研究さ 踏切道。消路を横断させ 力たい

國道事故防止

補洲國要人夫人達が

後病兵慰問

心からなる日満親善に

同いたく威激

一十五年に旧常するものは一下五年及十五年数十五年動制者の表に成では四月一日恒例による

全日本スキー

小女二三名募集 十四歲よ0十八歲まで優遇

本年から金杯・

項には注意して収益 ないこさないこさ

人塩させるここを得 1、旅行會內是

の入場に際しては豫めを顕 本人分會長並びに町内會長 班員なごに制限される

P、新聞蟾信記者。但し當 該轉出人の記者及び宣真

船倉より出火。目下極力消火一日光丸は午後二時六連島沖で

火 一その他詳細は不明である。 調船には乗客六十名あり原因船 一中であるが引返しつてあり。

航空小包郵便

通關事務開始

新京郵便局の第一日

から、中川により際長が節 その他責任者ある統制機関

洗濯組合 當分靜觀 て現業員の養成方法並に専京師に際、區長、主任を集成は世日朝來京、学論中は氏は世日朝來京、学論中は 感道部石原課長

つを中すにを集め 中は表 で集めは表 で集めば

は 第一日の検査成績は左の廻り 1 年 1 日の検査成績は左の廻り 2 日の検査成績は左の廻り 2 日の検査成績は左の廻り 3 日の検査成績は左の廻り

滿鐵廿五年勤續者

カみ方は大要なものである。 (場問関連)八才で十九賞、 の御相撲になるのださ、その の御相撲になるのださ、その

りを見せてゐるが養料品雜貨 出來た新京公司 六番地に此程 出來た新京公司 六番地に此程

を伸号 二・笠抱へ装枝占出キョノる

の境券四枚を落した。

森丸山梅島 野山下津名 常 直爾兵十

ー、ブラウン及支人配ピー、デェー、デンキー又新京支店ニ於テハ代表者エー、ケ 代表者ラ解任シ取締役エー、ケ當會社取締役代表者五泉賢三 ガ署名致スヘク此段及謹告侯也 ウン及支配人アイ、アイ、コヴレフス奉天本店ニ於テハ代表者エー、ケー、大人提出スル納入見積書及代金受領書 ノ代表者ニ選任セラレ候爾个當 ニハ當會社ノ コヴレフス

ユーナイテッドモー 昭和九年一月十八日 昭和九年一月十八日 工五夕 ター、ブラウン 発 一 アラウン

香 皇帝御 紋章 3 花

型が一岸海教教の皇帝即位 やつれた姿も晴れやかに話 ・ 一岸海面の洋宝

線を使は包み切れぬ欣び部神野痛で病床にある丁

は富然の事で、 楓葉の天地は

て居り、私さしても慶びに堪へない大祭です、由東議州は 、全、元、清四朝登畔以来 皇統連總さして十三代宣統帝

一直後 ~ 九二四年 一方ダーが行はれ。湯来祥のターが行はれ。湯来祥のターが行はれ。湯来祥は

三昨年十月二十七日以來明の領洲國会使館を訪れ

黎民衆の切なる嬰茎に依るし

現の慶びを齊して麻布提出がれるこまになつたのは、満に東京國地)満州國帝副管「神教政が議所的急略の位に即

丁士源公使慶びを

清朝誠忠の臣

をはあらせ、では、 を前目出席御床拂ひあら を自れるを洩れ承るが。 を中要中の事さて御��む。 の事はあらせ、一日

歸構内で會社業務並びに

四、制服船帽のタヤパンフ

を明入場館をもつてこれを火の者は別に規定された

總是夫人。德京師憲兵司令官吳軍政部總長夫人。丁受頭部

に佐世保護領)第二潜水戦な 大権迅線の内火艇は世日午後 大権・大統領・大概は世日午後 に帰る途中、郡二番ブイ附近、吹雪降りしきる軍港門を本艦 乘組兵三名溺死

(門司國通) 二十1日午後 郵船日光丸 は電に溺死に一名は行衛

概を派して救助に努めた結果から一斉に操照燈を照し救助れた榜事に階近停泊中の精緩を照し救助

ハル電燈廠

害の迫る恐れあるので11月11 十三日夜暗に紛れ2 北京城正 陽門外の東車站より身は皇帝 したテテヘル電燈脈は其後出したテテヘル電燈脈は其後出 大會第一日目 (札幌園道)第七回全日本學 年スキー大會系二日日の世一 日は午前九時五十分より札幌 市邪外のシャンラエに於て行 はれたが。早大の韓田選手は な代本県型を示し第一回に早 くも六十一米五十を飛び新記 的標準に達したものである

帝当房相撲十日日勝斉十日日勝斉

愛い。そとで、飲っために糖

初年御宴會は!!

御目出度う

美妓、好感、サービス満點の

三笠町三丁目

「オ、左横である。使町の道場へ

パー人時けると思って、百味だけ

貸してやつて下せえやし。 焼の

直扱の運搬は

たってもう、「妹」も国献たまれなくなったんでげす。 所が、妹、から聞なったんでげす。 所が、妹、から聞なったんでげす。 所が、妹、から聞いていては、 野童のでは、 野童のでは、 大きのでは、 大きのでは、 大きのが、 急に暇になっ

を横に関無心申すのは、質は起 変度となく首を下げる。中央衛

市引建海

內 運 搬荷 荷造搬

までが持ち切れやせん。 寧子院を

を は で しっ、 百 砂だけ都合して 選ば さう。だが今と言っては、 液人の さう。だが今と言っては、 液人の

縁れ、雅はすであらう」

オ、今晩神樂坂の河新まで

「ヘエー、心動といふとアノ大き

明けまして

Ξ

園

製

E

東

紅

知

識

眼

科

京 大

通

六

心の秘藥

電話四七九〇番

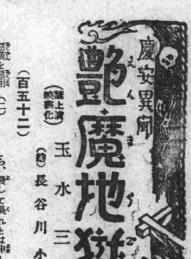
司

商工省部可

日本毛布敷布工業組合員製日本毛 織株式 會社製

御來診の方にのみ治療致します

繁師 堂 脇



ての後、斯う言った。 るか、先づ申して見より に居られぬとは、如何の水館であ 「お織の事で間違ひを住し、江戸 整漢を懸用 CID 金井牛兵衞は他に聞く人やある金井牛兵衞は他に聞く人やある に、配を置ってお願ひにいったや がねえんで覧は無借して間のねえ がねえんで覧は無借して間のねえ 母兵衛も頷いて、」

イヤ三吉野の際に、月代が帯しく 思って如何なる事を致したか。 つた。其方が見として「妹」の身なった事は、お離からも聞いて 我意を擅にして

者に謀の道を問へ萌美警戒の岐れ路職

物性顔料岩城セメン

トカラー」

容器一封度、五封度鑵入

責任を以つて推獎出來る

セメントと石炭の着色劑

8 3

ひ物酸質でも始め、緊急になっ

十二月

といふのが、あの三軒先の三

「實は湯島の天神境内の、お離の

要無坂の三五郎は、眞顔になっ

新京日日新附赴 

(午前十時大選出队) (午前十時大選出队) 行

上拵へ充分に靜に歩を選べ一黒の人 険略に蹈人る日 月十日 月廿八日 月月三十日

治家屯医公示第十七號 原東中国語を最高人士 原東中国語を表示大・ の東中国語を表示大・ の東京大・ の東京大

一、新京 御旅行者及一部

宜を計る為左配取

お用の節は電話かまり間到連に変して、同到連にできる。 中央通十 イロ (通濟運輸公司) 会話三一四一番 (通濟運輸公司) 会話三一四一番 業書にて左記に申込み下で、無書にて左記に申込み下で、一段に取扱い致しますから御及配達 一番地

福田支店

露 披 御 ふじ町に 君の心に 「個と呼ぶ 機しき女性の 機あ キャレタルダンスホール前 b 玉富戀八 軍 子子香子 四 まつる女 厚き情せを 待つたるばなへ 君のおこしを

の対散策の御疲勞に ケーキ各種 迅 速 江戸前のおしるこ

朝日堂喫茶店

昭和毛織工業社 電話三八二五番

理 店 京

**SKK** 

今 一 田 雪商 店

**昭和毛布合理販賣** 、牛は 素の康健 話 二〇八八本

健康の要素の 凡てを含有するは 牛乳の他にはあ りません 牛乳の御用は 皆様の 三宅收場

内外線電氣互事並二動力据付 、各種電燈取付五事請員 滿州國電氣指定商會 東軍電氣指定商會 電話三三五〇番 昭公司電氣部 新京中央通り十三番地 電話二一四七番

辯護士 沼田勇法律事務所

断然お 井蒲 燒

丸正運送店 教育三笠町四ノ五

草餂三八七八卷~!!

市内各食料雑貨店にあり

西田 材木店 電話三六七 卸及小賣

**予御注文ニ應ジマス** 各種其他一式、破格, **汗**家具 式、破格ノ御値段ニナッタンス、茶ダンス

時局兵備改善

荒木大路を陸明の位置から たよここは飯に遺憾さする 所で、一日も早く荒木大路 を止まない、而して後任坊 を止まない、而して後任坊

来任された事もあり、満的 関を古くから環解して居ら れることは非常に喜ばしい

軍制調査會を設け

諸制度施設の改革審議

Ric も、これには断じて反動するRic も、若規是或機裁は一部政治Ric も、若規是或機裁は一部政治Ric に遊轉せしめんこするもいあい。

同知せしめるものさして注目 場合に於ける所政職の態度を

柳次變化をみて來た取

次の如きものさみられてある。 主要事項は太體

機恒久的經費さしては銀何 和十年度から平年度に復す る方針であるが事變費中今

一・装備の改善

計應するための常備兵力の一、 備洲観並に新國際情勢に

明さ、國南大臣の唯衆漢論に (東京國語) 民政黨の (東京國語) 民政黨は中二十一日の大會後、熊自總統會を

なる程度の個を必要さする

見よ潑剌たる

満洲國の建設全貌

陸相 の就任 

原門 島醫院 小島飲郎

對滿關係より好轉 林大將は决斷力に富んだ人 關東軍での觀測

人で開州に動する際心は他の人よりも深く今後の動婦関係してるる

関のよき理解者

荒木陸相の鮮圧は誠に遺憾

遠藤總務廳長語る

日滿兩民衆 互に手を握 天業恢弘を翼賛せよ

本した皇太子殿下の御護虫を ましたこさは、三子萬民衆 は固より、吾々九千萬同胞の は固より、吾々九千萬同胞の は固より、吾々九千萬同胞の は間より、吾々九千萬同胞の は間より、吾々九千萬同胞の は間より、吾々九千萬同胞の な昨年來、多年の念願でありまして な昨年來、多年の念願であり たるを祝幅し、一層感激に堪く ないのののののはが天息に至り、而 を対しまして、東方の所 ないのののののはが天息に至り、而 を対しまして、東方の所 ないののののののののでありましたが、 を対しまして、東方の所 ないのののののののでありましたが、 を対しまして、東方の所 ないののののののののでありましたが、 を対しまして、東方の所 ないのののののののののののののであります。世界 只管所念して苦りました所で

始め一九三五年の重大時機類が中心に認防戦の増加

# 駐滿部隊交替

杉原本部隊派遣さる

もつて小山院内主任機器から で、致友智の床次氏の次に民 で、致友智の床次氏の次に民 で、致友智の床次氏の次に民

フロックコ

有する者にして

御嗣度品御謹製申上し光榮を

多くもかしこき御が様

民洋服店に動物致

「宮內省御用達大

かつて東京銀庫四石智儀

御大典に際し意義ある皆々様

難色

質問順で

ける愈よ議會再盟

〈黨否認の

空氣漸く緩和

政民兩黨政黨確立論

新京州東區事業 新京州東區事業 中村 仁

調

二月二十五日迄仕上御納品致します

當なる時期に 積の今議會 重大案件山 今間會は二十二億の一寸

財政重大聲明 十年度に増税斷行

り赤字女債の減少を司機さし さなし、十年度 弾脈域に富 る、即ら十年度 弾脈域に富 る、即ら十年度 弾脈域に富

農村問題を繞り 政府議會で論難せん

豚八百四十萬頭を有して

黃海、渤山及各河

等矢繼ぎ早やに政策を確立して農村土木経濟更生結廃設 保されて居り、東大化する形はいるべき機村問題は米穀問題が日本問題の肥料問題、農業土

立日高町参、警積量自五十 在日高町参、警積量自五十 億石を推定される前してこ

本和で警検の光輝く「正道戦

業立國に向つて歩氏を進め、 野くて満洲國の産業開發は、 野くて満洲國の産業開發は、

國民同盟 問題を議會提出

ては國門の語とは勿論と はのがある のがある のがある 小百典町歩。更に開墾を立 大百典町歩。更に開墾を要 大百典町歩。更に開墾を要 大百典町歩。更に開墾を要 大百典町歩。更に開墾を要 すべき同量の土地を有し、 作権の改良、液液は破砕がの でを有しまり現在の前費が

伸引受期間

二月十日

迄!!

甲込 一時にならざる様是非至急御

願申上げます

大禮服其他禮服の御手入は取 **芯ぎ御下命願度く充分の御手** 仕上申上げます 卸御 次 3 店 2 員 すを

和會關協

注清の各縣にも辦事職又は分 會を設立し义選からず和間、

一二四組を鎮年に耐比して一二四組を鎮少し又一月以降の場計

以一、六四三人で前月に比数一、六四三人で前月に比数一、六四三人で前月に比

含を設置する筈である

大頭目青山

どなる

## 日系官吏

新京署の取調べす<u>い</u>む

ご犯人の取調べさでもに關係のであるがその他關係者を料してるたなで、何關係者を料けれるがあるがのの問題係者を料けれる。 泥棒を追跡中

時代にロシャトの郵便貯金支 一般注目の的さなつてゐる右郵便局をロシャが管理せる に関し如何なる解決をするに関で回收管理し今日に到つた 模様である満点 図網ではこと 機様である満点 図網ではこと 機様である満点 図網ではこと 機様である 一般注目の的さなつてゐる

關係者を近く召喚 別國常局に嘆願する事に決定 名さして右貯金の支排方を滿 者さして右貯金の支排方を滿 者さして右貯金の支排方を滿

出廻期に於ける 貨物輸送計畫

市民のためにも講演することで開演最後に四、五日後一般でそれを一熱勝を振つたがなほ倒いて在京中時小各學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞樂補習學校で、二十日新京賞祭育の一世、一日本の一世の一世、一日本の一世の一年の一世、一日本の一世、日本の一世、一日本の一世の一世の一世の一日本の一世の一世の一十年本の一世の一世の一世の一十年本の一世の一世の一十年本の一世の一世の一世の一十年本の一世の一世の一世の一十年本の一世の一世の一十年本の一世の一世の一世の一十年本の一世の一世の一十年本の一年本の一本の一世の一十年本の一世の一生

售ロシャ時代の

すこさになつてるる。

列車に衝突す

便局を設置事務を取扱つてる 名。電地子其他十三十〇 の中間 の中間 の中間 の中間 の中間 の中間

ポーイが越へんさした際新

全市民残らず

種痘を實施しませう

第一日の成績は頗る良好

**兩人も相當多** 

挪戻方を蹣洲

中等學校卒業生を

輕油動車の

職職で募集

一・募集學校種別並びに人員権の様の主義を表現のでは大記によって中等程

本で、この日の成績版る良好で を関小學校の二ク所で執行した。この日の成績版る良好で を関小學校の二ク所で執行した。この日の成績版る良好で

第二次農業移民

地域愈よ决定さる

敦化、額穆兩縣六ケ所に亘り

解氷期と共に1

吉林省賢業職に於て土地買收 管であり拓粉省の依囑により 管であり拓粉省の依囑により

昭和八年十二月中間東州及南 間が、山道附屬地に於ける人口 動態の概要を摘記すれば左の

人口動態

一九八組を制年に比較する 関月に比較するさ三五組を 利加し女一月以降の累計四 が加し女一月以降の累計四 が加し女一月以降の累計四

大同學院の

院長の資格をもつて二十四日間務職長漢藤柳作氏は大同事

二十二日午前八時三十分ごろ

現狀より見て結局下旬に於て 場方面にかりては四兆線は前 しため四平街引受は回旬に比しため四平街引受は回旬に比して稍増加を見るべく及京區 線方面にかては明符されし拉線方面にかては明符されし拉

新京鐵道事務所管內

東資金を掘安してるるさ 東資金を掘安してるるさ 反滿抗日司令

賣行きは

鳴りを鎖めてるた

共産軍の活動

中央軍の側面を破り尤溪占領

二十五日

ドの

小唄ものが筆頭

同 祝 町 横守春二二等 新發屯 渡邊秋子

同 愛耶建設局 南部庚一

「福州二十二日受國进」十九路軍敗退前協定を裏切つて何等協力しなかつた福建西部の共産軍は突如活動を開始し、進出せる中央軍の側面を攻撃中断するの目的を以て約四ヶ市断するの目的を以て1十日沙縣を占領、續いて尤溪を占領した。

豫防種痘

二十六日

四平街

脫獄犯人

捕はる

奉天へ赴任

始め一般見送りの人々多数語 は二十一日午鶴九時旭で赴任 は二十一日午鶴九時旭で赴任 したが新京驛では軍部關係を

田生は内地人五二六人朝鮮人 大三四人領州人二、五〇三 人三四人領州人二、五〇三 人地数三〇六三人で前月に 比し五二七名を増加し又一 月以降の累計二七。九七六 人は前年さ比較して四九三 人は前年さ比較して四九三 人の増加を見てゐる而して 出生機數を男女別にすれば 男一、六一七人、女一、四 四七人で女百人に付き男一 一一人の割合である。死

三浦中佐

大賣出しの

捕された

新患者が頼出してゐるが、 本 然痘は盆々猛威を振ひ、日々

益々猛威振ふ

巡補に競見され大格闘の末逮

奉天の天

「四平街支局を」落版來滿歐沿線に於て盛んに猛威を紮ひ強延中の天然痘は漸次四平街 と他では之れが應急強防されて來る二十四日よりた配日とて來る二十四日よりた配日とて來る二十四日よりた配日でなった。

が京輸入組合聯合議末大費出 しの景籔にて其後判明したる 當籤者

大雪崩

日満人を合せて五十名の多きが産生した、目下のさころ明

んになつたここを物語るものがこれも市民の衛牛観念が盛

一等 國都ホテル 松本フ

「鳥取國語」昨二十一日午前 山に大雪崩があり三家屋倒潰 し十五名が下敷きさなつたが を一名は辛くも揺り出し他は

四洗線の

貨車復活運轉

袖質同同人 追加豫算上程

医る事を所轄警察署の證明 までに現に議酬内に専住しまでに現に議酬内に専住しまでに現に議酬内に専住しまでに現に議酬内に専住しまでに現に議酬内に専住しまでに現に議酬内に専住しまでに現に議酬内に専任し

(天津二十二日食識明) 福建 (天津二十二日食識明) 福建 (天津二十二日食識明) 福建 (天津二十二日食識明) 福建 (天津二十二日食識明) 福建 (大津二十二日食識明) 福建 (大津二十二日食調明) 福建 (大津三十二日食用) (大津三十二日食調明) 福建 (大津三十二日食用) (大津三日食用) (大津三十二日食用) (大津三十二日食用) (大津三十二日食用) (大津三十二日食用) (大津三十二日食用) (大津三日) (

奉天鐵道事務所 巡査部長に昇進 大典學行費

昨日の國務院會議

本天戦道事務所無額長阿本前 外氏はかねて病氣中のをころ 二十二日午前四時つひに襲石 効なく逝去した、な圧葬儀は がなくがました。な圧葬儀は 氏:二十日付で巡貨節長に京署巡貨池水菓一、林知成

四半年、郷家屯、洗南、信號 対車、郷家屯、洗南、信號 が大田一日より方記の如く を活達等を始始した 四半街、鄭家屯、洗南、信號 が大田一八〇二二 の一十一日より方記の如く 所四平街山八一〇列車 >

分断京設列車で赴任の豫定で かんこ 十六日午前八時四十分断京設列車で赴任の豫をした原 原少佐赴任

主要配役 丹下足膳 かを積立心質 を破立心質 を破立心質 をでする。 を

映 ト左膳來る

一十二日より新京キネマ 日活全發聲

近く憲法實施 帝制を喜びながら

以降の累計一七、五三九人を前年に比較する三二、一五四人さ云ふ敵減を見て居る而して之れを男女別にすれば男八八二人女七六二人で女百に付き男一一五人辿の割合になつてゐる。更に出生の死亡を超過する人口 (東京図通) 憲法制度确での 趙欣伯博士語る

本の建場三周年の佳日に際 し、新に帝制を布き海戦政 がこしに皇帝に即かるし事 は我禰洲國人さしてこの上 なき夏びじある新皇帝に於

であら」さ仰せるれたが誠

深は今後全す新國家 関に於ても誠に宜っ ので考へる 頑

北平への遠征の途に就い

スルビン最大津、奉天。天津 オッケー選手一行は二十二日 スルビン最通」ハルビン。 遠征出發

十二分に交歌午後八時過ぎ散 ホッケー選手

名士等七十餘名を招待堅

「四平街支局費」大尾四平街 大荷主等招待 自午前九時四年街小學至正午校普通學校至正午校書時顯鐵與樂部至同四時 公學校 大尾驒長 至同四時 至正 午 中 中 市 九 時 至同 四 時 年 前 九 時 場共榮大街 超區四中街牌保 及同俱樂部機關品現場 四平街署 下の婚引出物、家養の茶童を を出るせで、まだ待女お登勢に こ即はお選一味の陰謀を知つ では一人一三自角順理戦の地震がある。 一大師定さなつた。 落の を一風宗匠は名器茶童の中に ではる器茶童の中に ではる器茶童の中に ではる器茶童の中に ではる器茶童の中に ではる器茶童の中に 大 気 さ 気 温 である 英語は最高等下大をご のよの 英語は最高等下大をご (東京観通) 密版審査委員日日午前一等肺炎で逝去した。 ▲人船町四丁目二十三番地津 久井崩子さん二十一日午前 五時四十分死亡 本住舎町二丁目大番地小田桐 ▲花園町二丁目八番地林田真田美さん二十一日午前八時 山田敬中氏逝去 館並に長春縣公署の

朝鮮人民會で經營に决定

||金民會長語る|

職の結果、同農協は補後氏會に移 要的答一切。民會當局はこれ に関し新京總領事館さ種々協 に関し新京總領事館さ種々協

行はれん 「原京調通」今回三井物産安川雄之助常務収締役群任に伴り三井系各會社の重役層には別な異動をみるもので如くである。即ち目下認可申請中のある、即ち目下認可申請中のある、即ち目下認可申請中のある。即ち目下認可申請中の

引空 日のブログラム強告 引空 日のブログラム強告

診療時間

图學士內田清三郎 電話取次四九五八番 一般日 年午前八時 一般日年午前八時

山崎齒科

改組廣汎に

い語か用ひられてゐる、

海の外から

五時五〇分

**充時四〇分** 

中央通廿

三編鮮ビル二階

(意兵隊本部隣)

大學二〇分

四醫院

大時四〇分

向い共に参書せんここを希望さの猛省を促し、彼が大國の大理想に

目指す

(三)

斯京區を示第二十六號 南瀬洲磯道株式曾祉 南瀬州磯道株式曾祉 南瀬州磯道株式曾祉 南瀬州磯道株式曾祉

及歳ヲ受かラルヘシ

は次の如く配してある 限計するに第二條目的の項に 関連體育協會規約に依り之を

具体策に就て大査で研究中で一般を洗ひ除く計器を描て目下

することが甚しい まあつ時後に脳客館の競響を

さいすいない。 では、 の東に於ける體 では、 の東に於ける體 では、 の東に於ける體 では、 の東に於ける體 では、 の東に於ける體

1+1110

二十九日 二十四日同二十五日同

三十日同同同三、検拉を別権信談當者ノ種信後六日同同同日三、検拉を別権信談當者ノ種信後六日 新京警察署告示第一號

の得望人しかり

B乃至八日ノ期間中ニ細菌險

川の呼

根據受種痘以及險痘)但 生過痘瘡於二月二十二日 电流子關 电所定编所次二月二十二日 电流子隔 時補痘

生洋 を の ヨーカン トーラ 製和菓洋 ラ 春春

外科、性病科同 郡寮(犁輪动幣)日限祭日午前中 点据二六〇六号 醫院

置同上兒

同上從業

施行區域場

施行區域

唸を生じて大評判 不况を外に大發展 優かば焼トざんぶり 三笠町二丁目

⊌場所 → 於テ種痘(定期強痘)設置者ハ種痘及陰痘)ラ受々へ電行ス管内医住者の富日午前九時三十分 ■1午後三時迄指没濟豫莇!タメボル一月二十二日■リ左配ノ通臨時種痘ヲ5京警察者告示第一號

荒

章

但痘瘡ヲ評過シタル者の

高山新京 此ノ限ュ在ス

は出来

御報参上 各種印音 叫 味堂印章部 燭品 \*

和洋百貨

泰二

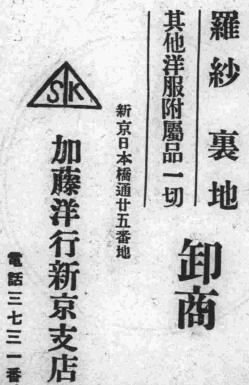
電話 三

并 ?

中央通西公園前 療時 間

は 看話三四二四卷









古今未曾有の一大盛儀 を加盟富入荷 御一報次第見本特集御生地豊富入荷 御一報次第見本特集御 年ーニング・プロッ 御大典禮服・燕 尾 群商松 物原老舗の三笠町三丁目 田 ク 点店

手打うぐん 生そば御手を料理 神経の所への はいました何本堂歌をか に不拘御下命の程出版 に不拘御下命の程出版 に不拘御下命の程出版 に不拘御下命の程出版 に不拘御下命の程出版 にあいます。

大和通端鐵病院西 熊 \* 星 チャップリン食堂 番五三四三電

室町

を行打された客劇も云合した

一自教に場を北の万へ強出し

門がして、野野が一つ動いたと見、手首をやられた漫画の武士も、

何数冬は、結びいるかと中しますと、第一に交易が清澄で、影響になるかと中しますと、第一に交易が清澄で、影響にてあるかと中しままに掛ける後者にとつて、どんなないよ事は、申す

身體を心から温める一

がら、覆面の武士は、無言であつ

は行打を受けてはんだ刺客の簡を

い酸砲の書がして飛んで松た弾丸

直ぐ耳近くで、オドンと裏まじ

その見音の中に一種除しい或る

らない早野での交別観法の中にある。それは目にも止ま

心の命へ打込んだ双をはつして

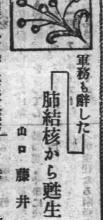
ると、松の歌の彼万へと身を借ま

白刃

たと思ふと双は横合から斬りつけたと思ふと双は横合から斬りつけ 横合から迫つて来た背の高いの

氏でがみつけてやらうを突襲に思 ドに崩ざかつて行く思い二つの影 自分を助けるやうな観光は合脈 行かないと、きつと心明いて 歌之丞は追うとはしなかつた月

の方から眺をかけなかつた。 の土地下にスックと無影が突つ 自分の方へと近寄つてきた。 をかつてあて、それがのそりとしと 



をなした。「解院の門を得つた事のなれる薬のほかに、誰もが皆「能郷」「佐藤和かかもとしのお臨で、食薬が出ては、かつて腹を留めた事が、お、「能源的かもと」を形用してをります。 には一向髪りがなく、間もなく動きせんでした。 (中野) した腹邪がもとで、気管支炎に徹 したのでは、上来勝気な私は、日 進し、毎日受勢だつた食欲が、急に地 「金瀬かかもと」により、一日では、かつて腹を留めた事が、他のでは、1000円である事が、自分行ら不能です。 と、「能源的で、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能では、1000円である事が、自分行ら不能である事が、1000円である。1000円である事が、1000円である事が、1000円である事が、1000円である。1000円である。1000円である。1000円である。1000円である事が、1000円である事が、1000円である事が、1000円である。1000円である事が、1000円である。1000円 が歌いしました。 は形で後、 沖事や 自動車でゆられたのと、十年の長 に戦略生活から離れた気の職みで が歌がしました。









多いのは甚だ危険です。

我が龍角散は、この病

舞職は破壊です。ですから関は此の監押常 です。事態上簌咬などの気があつたら最後

舞踊家が眩を悩れることは、黙黙家以





文は総数不良の患者程、他被中の良好大き者程、他被中の良好大き者程、他被中の良好大き者程、他被中の良好大き者程、他被中の良好大き者程、他被中

結核のこがらし療養

寒氣はむしろ療養に好適

ー日光の不足はかうして補ふ-

数之丞はついと育様へ飛んだが

して、その別客は、あつと院を立

かたの

がた。 が、関向から数と述の双が落ちて コーは、関向から数と述の双が落ちて

あはや、隣にも買二つと見えた

法療ゼーバリの稼結

かもと」はリバーギを多く含有 してなりますから、これを大量 に程源すれば、血液中のリバー に提源すれば、血液中のリバー のする事が

一般末り 性で るる数字の以近節を上 都た會饰 隆 連大店本 第四等田安康師

にとつて、

「喔目冒·島瑞·喀痰

たんにて常にゴホンゴホンと悩む人をんにて常にゴホンゴホンと悩む人を 質に出て 夜中 眠 乗る 人をん臭氣を帶び 時が 血の変る人たん臭氣を帶び 時が 血の変る人たん臭氣を帶び 時が 血の変る人のたん臭氣を帶び 時が 血の変る人

定

機藤井得二郎商店 編書東京九二番 東京市韓田區豐島町 十八日分 8 8

龍角散の適應容態書

思って輕視する人の 世間では何咳ぐらゐがと 咳をすれば瘡いて幾人でもそれに習ふといふ程です。我が感では痰咳患者が非常に多く、集會の席上などでで人 恐るべき痰咳喘息を 炎肋膜炎或ひは肺結核等に變症い たいけでも直ぐ體重が減り、肺臓に刺戦を與へ ◇石井漠氏曰く たしま す。

3

咳は我慢し

2

0

治療 3 變症防止

評に鑑みて御知らせ即 東である事を世間の定 果を完全に具備した名 脱と變症への防止効 しておきます。 上にも、保飲上常に酸の薬を準備して啓 わけで、それが僕が龍角散を 用版深く、製のがの舞踊の 舞雕監の保健に偉効を奏して臭れ ことを能んで を率るて

二日年分

A 903

全國各樂店にあり

**发音**发序了